

見やすく！分かりやすく！充実した農業・農村の情報を届けます

全国農業新聞を読もう!!

紙面徹底解説 パンフレット

2022年度版

**「見やすい」
「分かりやすい」**

紙面を追求して
週1回発行しています!

全国農業新聞とは

全国農業新聞は、農業委員会ネットワークが発行する農業専門紙です。1952（昭和27）年に創刊し、2022年に70周年を迎えました。

1週間の農政の動きや現場で役立つ栽培技術・流通の情報、魅力的な農家の取り組みなどを幅広く伝え、担い手の皆様の経営発展に役立つ新聞として高く評価いただいております。

常に、より「見やすい」「分かりやすい」新聞を目指して編集・発行しています。ぜひ1度手に取っていただき、情報収集のツールとして全国農業新聞をご購読いただければ幸いです。



全国農業 新聞

◆発行日／毎週金曜日

◆購読料／新聞本紙＝月額700円（税込）※新聞本紙はもちろん電子新聞も閲覧可能
電子新聞＝月額500円（税込）※電子新聞のみの閲覧

見本紙のご用命、購読のお申し込み、ご相談は、お近くの市町村農業委員会、都道府県農業会議、全国農業新聞ホームページからのお問い合わせやメール等でも受け付けています。

電子新聞のお申し込みは、全国農業新聞ポータルサイト「あぐりオンライン」で受け付けています。

メールアドレス●gyoumu@nca.or.jp



ホームページアドレス●
<https://www.nca.or.jp/shinbun/>

QRコードはこちら



あぐりオンラインアドレス●
<https://agrionline.jp/>

QRコードはこちら

..... ここがポイント！全国農業新聞

紙面の内容、特徴	
1面	<ul style="list-style-type: none"> ●経済・経営・農地・地域社会問題等、毎週様々なテーマをお伝えします。週替わりのコラム、特集企画 等 <p style="text-align: right;">→ p 2へ</p>
2面 3面	<ul style="list-style-type: none"> ●農政ニュースをまとめて掲載。忙しくても1週間の動きがすぐ分かります。 ●その時々話題の農政や農業用語、技術を分かりやすく解説します。 ●第一線で活躍する農業者にスポットを当てて紹介します。 <p style="text-align: right;">→ p 3へ</p>
経営 流通 技術面 地域 暮らし面 (4～6面)	<ul style="list-style-type: none"> ●経営に役立つ管理方法や最新技術、話題の商品、先進農家の取り組みなど、農業経営に役立つヒントが盛りだくさんです。 ●2週・4週は、見開きのワイド面。「より読みやすく」を追求しています。 【4面】経営・販売や労務管理、農村女性の活躍のQ&Aコーナー（週替わり）、新しい技術や商品の紹介 等 【5面】経営に役立つ実務情報を載せます。市況（2週）、マーケット情報（4週） 等 ●地域活性化に関する現地事例を紹介します。 【6面】園芸講座（2週・4週）、食生活や農家生活のヒント 等 <p style="text-align: right;">→ p 4、5へ</p>
農業委員会 ネットワーク 通信面 (7面)	<ul style="list-style-type: none"> ●全国の農業委員会の特徴的・先進的活動、活躍を毎週お知らせ。農業委員会活動の参考資料として、農業委員・推進委員必読のページです。 ●農地や農家生活の法律相談、農業者年金等、情報提供活動に欠かせない情報が満載。 ●有害鳥獣対策のヒントとなる取り組みを連載。 <p style="text-align: right;">→ p 6へ</p>
地方面 (8面)	<ul style="list-style-type: none"> ●地方ごとの頑張る農業者の記事、農業委員会活動、イベント情報等を掲載。全国紙ですが地域の話題にも強い！身近な方の頑張りが伝わることで地域農業の活力に繋がります。 <p style="text-align: right;">→ p 7へ</p>

農政の動きとかかわる経済・経営・農地・地域社会問題等、毎週様々なテーマをお伝えします

1

2022年(令和4年)4月1日(金)

全国農業新聞

(昭和27年3月11日第3種郵便物認可)

第3232号

全国農業新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

2022年(令和4年) 4月1日 金曜日
月4回金曜日発行

農地を活かし 担い手を応援する
農業委員会ネットワーク機構

発行所 全国農業会議所

〒102-0084 東京都千代田区二番町508
中央労働福祉会館ビル 電話:03-6919-1130
©全国農業会議所2022
ホームページ: www.nca.or.jp/shinbun
お申し込みは、お近くの農業委員会へどうぞ

水田で猛威 ナガエツルノゲイトウ

外来水生植物の侵略防げ



水田で猛威を振るうナガエツルノゲイトウ。放散させた、根を抜き取り、根の連根を切り、増やさないための厳しい戦いは続く。農業者も生息地を、農業者が特定外来植物の水草「ナガエツルノゲイトウ」が農地、畦畔に侵入・繁殖し、深刻化している。河川、ため池を薬液で通水処理、にらみ、駆除して種にかなって成長を妨げ、収穫や品質を落とさない。また、選別性の利得とジェット水流の活用、防止フェンスの設置、非選択性薬剤を使った駆除、放散策などを迫られた。

「8年ほど侵入が確認された。東播磨農政局、播磨川やため池の保全に努める市民団体「兵庫・水辺ネットワーク」(神戸市)との連携・協働で駆除活動が本格化。光合成を阻害する0.05%の建設用ゴムの黒色水シート(幅20センチ、長さ50メートル)を、即断した(して)必要に応じて、補修や移動追跡(研究提供)」。水田に侵入したナガエツルノゲイトウは、根を抜き取り、根の連根を切り、増やさないための厳しい戦いは続く。

農業、農政問題について、事例や現場の声を盛り込みながら解説します。

＜過去の取り扱い内容＞
農地利用最適化の最前線
広がる！地域まるっと中間管理方式
持続可能な人“財”育成
女性活躍の分岐点
委員活動にひと工夫 などなど

委員活動にひと工夫

夫さん(63)は、2021年11月に同市の農業委員に補充選任された。前任の委員が任期途中で亡くなったため、臨時に補充された。新任の委員が任期途中で亡くなったため、臨時に補充された。新任の委員が任期途中で亡くなったため、臨時に補充された。

委員・事務局ワンチームで

「ワンチーム」がモットーの門真市農業委員会。委員と事務局が協力して農地を管理し、地域社会の発展に貢献している。委員と事務局が協力して農地を管理し、地域社会の発展に貢献している。

大阪 門真市農業委員会

約10年前に公務員を退職し、大阪府門真市で農業を営む。農業委員として活動し、地域の発展に貢献している。委員と事務局が協力して農地を管理し、地域社会の発展に貢献している。



「ワンチーム」がモットーの門真市農業委員会。前列左から中道委員、寺内会長、坂川さん

週間気象レポート

地域ごとの気温や降水量の傾向などの気象予報を、すぐに目につく題字下に掲載！答えが気になる「お天気クイズ」にも挑戦を！

「お天気クイズ」にも挑戦を！

1か月平均気温

4月 11.0℃

お天気クイズ
1年で4月に一番多く、中国大陸からやってきて、日本に春がすみといった現象をもたらすものは？
答えは3面欄外上へ

主な記事

- 6 土壌流出や飛散防く新工法
- 3 現制度で3期目迎えた農委會
- 7 猿にGPS付け活動を把握

認定農業者応援宣言！

脳内SDGs

漫画家・コラムニスト 辛酸なめ子

ワイヤーで健康増進

最適解の探求

漫画家・コラムニスト 辛酸なめ子

小説家 瀧羽 麻子

動物学者・「けもの塾」塾長 今泉 忠明

真昼のビール

いきもの語り

4人の執筆者による週替わりのコラム。思わず「あるある！」「そうそう！」とうなずいてしまうような視点が人気です！



2面の特徴

◆ここだけ読めば1週間の農政の動きが分かる！

農業者はもちろんのこと、農政の動きを把握している必要がある農業委員会をはじめとする農業関係機関の皆様にもおすすめです。

見逃しがちな公募事業情報も発信します。

▶人ひと…最先端で活躍する農業人にインタビュー

▶ハニワの農地あっせん日記…ジャーナリストの榊田みどり氏が監修。農業委員会の様々なエピソードを女性委員のハニワさんがマンガで伝えます。

3面の特徴

解説に重点を置いた面です。専門家による時事解説や、話題の用語や法律改正、新技術など、農業者に詳しく知っていただきたい内容を農家目線で分かりやすく紹介します。

トップの2大注目コーナー

▶なんでも聞いちゃえアグリの話 (3週に掲載)

いまさら聞けない〇〇って何？を対話形式でやさしく解説。新任委員さんや学生さんにもおすすめです。

<過去の解説記事一例>

- ・いま注目の大豆ミート
肉に近い触感、環境問題で脚光 (2021年9月17日号)
- ・eMAFFでオンライン申請
農水省所管の手続きすべてに対応へ (2021年11月19日号)
- ・「有機JAS」ってなんだろう
国際的なルールに準拠し作成 (2022年1月14日号)

▶アグリとサイエンス (4週に掲載)

目で見て分かりやすい！最新農業技術を紹介。4コマ漫画や豊富な写真で解説します。

農業を科学する
アグリとサイエンス
水田のかり肥料を半分〜ゼロに減らすための指針
〜水稲作での肥料コストの低減につながります〜

肥料削減指標は、水田の土壌の肥力や、稲の生育状況、過去の施肥履歴などを元に算出される。指標が高いほど、肥料の削減が難しい。指標が低いほど、肥料の削減が容易である。

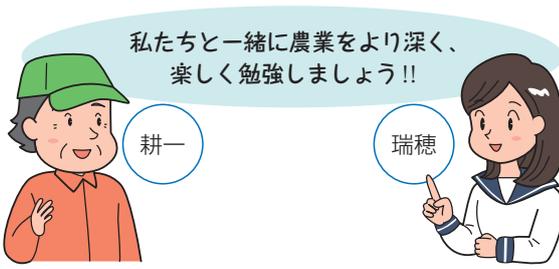
水田の肥料削減には、水田の土壌の肥力や、稲の生育状況、過去の施肥履歴などを元に算出される。指標が高いほど、肥料の削減が難しい。指標が低いほど、肥料の削減が容易である。

水田の肥料削減には、水田の土壌の肥力や、稲の生育状況、過去の施肥履歴などを元に算出される。指標が高いほど、肥料の削減が難しい。指標が低いほど、肥料の削減が容易である。

水田の肥料削減には、水田の土壌の肥力や、稲の生育状況、過去の施肥履歴などを元に算出される。指標が高いほど、肥料の削減が難しい。指標が低いほど、肥料の削減が容易である。

2022年4月22日号

「水田のかり肥料を半分〜ゼロに減らすための指針」より



私たちと一緒に農業をより深く、
楽しく勉強しましょう!!

耕一

瑞穂

いなかに住む瑞穂の伯父 (50歳)。市の農業委員でもある

都内の普通科高校1年生 (16歳)。社会科が得意で好奇心おう盛

現場の生の声がわかる

▶農人伝…農政ジャーナリスト榊田みどり氏の構成による農業関係者の生きざまを集中連載

▶つれづれ農日記…農業者の生の声をじかに感じる！リレー執筆

<p>1週</p> <p>「小規模楽農のフロントランナー」 小布施牧場(株) 代表取締役 長野県 木下 荒野</p>	<p>2週</p> <p>「牛やの母ちゃん始めました」 矢島牧場 埼玉県 久保 香代子</p>	<p>3週</p> <p>「地域の嬉しい食をつくる」 (株)福田農場 取締役 60年続く観光農園3代目 熊本県 福田 浩樹</p>	<p>4週</p> <p>「女ひとり米農家になる記録」 NPO法人百菜劇場 代表 滋賀県 廣部 里美</p>
---	--	--	---

最新の技術や農業機械、
先進農家の取り組みを紹介

認定農業者
応援宣言!



農業経営でお困りのことはありませんか?
疑問のあれこれを分かりやすいQ&A形式で解説し、解決
に導きます

<p>販売促進相談 Q&A</p> <p>代表取締役社長 平田真一</p> <p>1週</p>	<p>経営改善相談 Q&A</p> <p>代表取締役 横田修一</p> <p>2週</p>	<p>農村起業相談 Q&A</p> <p>代表取締役 佐藤可奈子</p> <p>3週</p>	<p>人材育成相談 Q&A</p> <p>代表取締役 服部都史子</p> <p>4週</p>
--	--	---	---

販売促進相談 Q&A

高松市 代表取締役社長 平田真一

Q コスト増大で販売価格を値上げしたい。
A 原油高や資材不足で、農業従事者や消費者の両方に負担が掛かっています。価格改定を悩んでいる方も多いです。価格改定は、現状を伝え、改定時は利益計算に注意する必要があります。

Q 農家の努力を認めた上で、価格改定を希望しています。
A 価格改定は、現状を伝え、改定時は利益計算に注意する必要があります。

セミナー

農業マーケティングの羅針盤②

「たべるモノ」から「たべられるモノ」へ

岩崎 邦彦

「たべるモノ」から「たべられるモノ」へ、農業マーケティングの羅針盤②。今回は、消費者が高品質なモノを求め、価格も払えるようになった。その結果、農家は高品質なモノを生産し、価格も高く売ることができるようになった。これは、農業マーケティングの大きな変化である。



▲吹き付け付け区、雨が無処理区。右は、雨などの影響で土が少し削れている。

すでに導入、土砂崩れ防止に期待

泥さらい・草刈りの軽減に 持続可能な環境の保全へ研究

BSC工法の研究を進め、土砂崩れ防止に期待。BSC工法は、土壌の構造を強化し、土砂崩れを防止する効果がある。また、草刈りの軽減にも効果的である。

害虫の飛行位置予測レーザー光で狙撃

害虫の飛行位置を予測し、レーザー光で狙撃。この技術は、害虫の飛行経路を予測し、正確に狙撃できる。これにより、農薬の使用量を削減し、環境への負荷を軽減できる。

「病害虫雑草診断アプリ」対象作物拡大

スマートフォンアプリ「レイモ」の診断対象を拡大。トマト、ナス、イチゴの4作物に加え、新たにナス、キュウリ、ナス、イチゴの4作物を追加した。診断精度を向上させ、農家の負担を軽減する。

牛の分娩監視を省力 体温変化で予知

牛の分娩監視を省力化し、体温変化で予知。このシステムは、牛の体温変化をリアルタイムで監視し、分娩のタイミングを正確に予測できる。これにより、農家の労働負担を軽減し、牛の健康を維持できる。

各メーカーなどで開発された新技術・新品種や新発売の農業機械、資材をご紹介します。

マーケティングや農業技術、税金等経営に役立つハウツー情報を連載形式で解説します。

経営に役立つヒントが沢山

2週・4週は見開きのワイド面でお送りします。
レイアウトを新聞の枠にとられない斬新な形に挑戦し、今まで以上に読みやすい紙面を目指します。

5面はここに注目

◆2週、4週共通

農老若男女問わず農業者の皆様注目!
経営に役立つ管理方法や技術、話題の商品や注目技術など経営に役立つ実務情報が盛りだくさん。

◆2週は市況に特化!



市況はここでチェック!
東京、大阪市場を巡るトピックや果物、食肉鶏卵の市況をご紹介します。



◆4週はマーケット情報に特化!

…農産物流通・販売の専門家が解説します。

青果物流通最前線

流通ジャーナリスト 小林 彰一

国産野菜の話題と動きを解説

マーケティングアイ

マーケティングプロデューサー 平岡 豊

地域における直売所や商品づくりを解説

スーパーの食品流通

流通ライター 渡辺 米英

スーパーの農産物流通の話題・解説

米取引概況

(株)米穀データバンク 佐藤 隆志

米の価格や流通状況など徹底解説

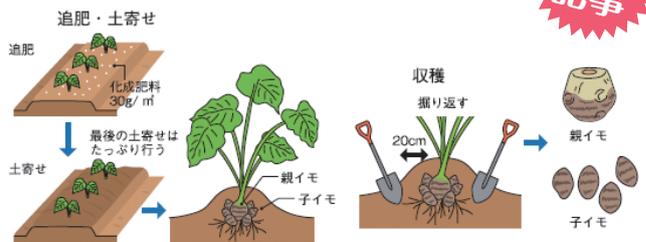
6面はここに注目



分かりやすい
イラスト付き!

TVでも大人気、藤田智教授の解説により、
野菜づくりのコツを学べます。

新規就農者の皆様、新しい作物の栽培に挑戦される皆様を応援します!



2022年4月8日号「秋の収穫めざして-日本の味サトイモ」の回より



農家の継承

相模原市 明石 久美

いずれ訪れる「代替わり」。
その際に必要になる相続などの準備
について解説します。(2週に掲載)

列島最前線

農家や住民が地域活性化を目指す
取り組み事例をご紹介します。

食べて健康

読者プレゼント

健康に過ごすためには正しい食生活
が重要です。発酵食など、「健康」につ
ながる食べ方をご紹介します。(4週に
掲載)



月に2回、各地から集まる美味しい
ごちそうをプレゼント!!

全国の農業委員会の活躍を
毎週お知らせします。



2022年(令和4年)4月1日(金) 全国農業委員会



21年度 鳥獣害対策優良活動表彰
農水省農林振興局長賞 被善防止部門個人
新潟・阿賀町 波多野健治さん

波多野さんは、2019年から阿賀町で、G.P.S.を取り付け、猿の群の活動を抑制し、公認している。同町内で田畑や生活圏を荒らす猿の群は、20群あるという。波多野さんは、15年からは阿賀町の地域おこし協力隊として活動し、任期終了後も同町に滞在して鳥獣害対策を続けようとしている。お父さんは10年に新潟県立農学短期大学に...

新規就農



若手農業者との座談会も
「10年後の農業」で意見交換

同委員会は今月、のり方について「若い世代にも農業を継いでほしい」との意見を聞く必要があった。意見交換は、農業委員会が主催する研修会の一環として行われた。...

STOP 鳥獣害
全国農業新聞読者の関心度が最も高い記事といえばこれ！
全国各地の鳥獣害対策事例は、地元での対策の参考になるといって多くをいただいています。

農業委員会ネットワーク通信

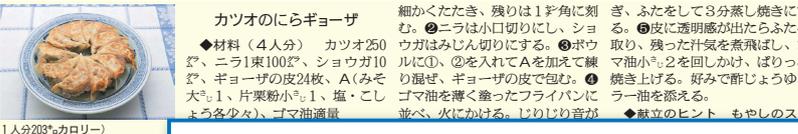
毎週、農業委員会等の活動事例を紹介します。1年間でほぼ47都道府県の事例を取り上げます。事例は、遊休農地解消のための活動や人・農地プランの実質化など、**農地利用最適化の業務を行う上で欠かせない内容**です。

農業委員会活動のテキストとして、**毎週**お目通しください。他地域の事例を知ることによって**新たな視点**が生まれ、活動の幅が広がります。



委員必読
市農業の魅力を発信

新就農者や若手農業者の増加を促すためには、農業の魅力について発信することが必要です。市農業の魅力について、農業委員会や関係機関が連携して発信していくことが重要です。...



農業委員会ネットワーク通信と連動した郷土食材を使った料理のレシピをご紹介します。
1・3週▶石澤清美先生 2・4週▶今泉久美先生

◆農業委員・農地利用最適化推進委員だけでなく農業経営者も役に立つ連載

農地の法律相談
監修 ● 弁護士 高木 賢

農地に関する困ったあれこれをQ & A形式で掲載。賃借、相続など、さまざまな相談対応の参考になります。(1週に掲載)



農委活動の道しるべ

農業委員会活動の活性化に役立つ情報を毎年掲載します。



農と村のルネサンス 持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山 浩
農業と地域活性化に向けたコラムです。(2週に掲載)

農業と土地政策 明治大学名誉教授 青山 侑
土地改革が大転換期を迎える中、歴史から農業・農地制度を考えるコラムです。(4週に掲載)

農家生活の法律相談 弁護士 菅原 清晴
農家生活にまつわる法律をQ&A形式で解説します。(3週に掲載)

地域の農業・食がぐっと身近に

全国紙かつ地域の話題にも強い新聞です

<地元のこんな情報が手に入ります>

- 特徴的な経営を行う経営体
- イベント情報

⇒地元だから視察に行きやすい、イベントに参加しやすい！

- 頑張る新規就農者、活躍する若手、女性農業者のご紹介

⇒ご近所さんが、直売所で手に取った商品の生産者が、身近なあの人々が載っているかも…

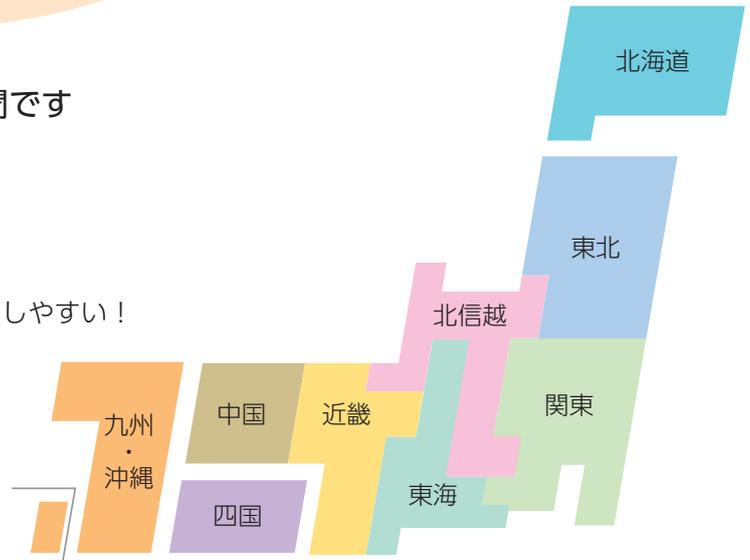
- 特産品や新商品

⇒知らなかった地元の隠れた名物が見つかるかも！

週ごと、地域ごとにお届けする版が変わります。

※下記表は目安です。月ごとに変動する場合がございます

※地方総合版とは、ブロックに関係なく様々な都道府県の記事が載る面です



ブロック	1週	2週	3週	4週
北海道	北海道・東北版	地方総合版	北海道	東日本地方総合版
東北			県版（岩手、福島） ※青森、宮城、秋田、山形は「東北各支局の話題」	
関東	関東版		県版（茨城、栃木、群馬） ※埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨は首都圏版	
東海	東海版		中日本地方総合版	
北信越	北信越版			県版（新潟、長野） ※富山、石川、福井は北陸版
近畿	近畿版			県版（京都、兵庫） ※滋賀、大阪、奈良、和歌山は地方総合版
中国	中国版		西日本地方総合版	地方総合版
四国	四国版			地方総合版
九州・沖縄	九州・沖縄版	県版（長崎、熊本、宮崎、鹿児島） ※福岡、佐賀、大分、沖縄は地方総合版		